

いいまち 議会だより



第78号 平成29年7月15日

発行：長野県飯島町議会

P3

あれどうなった
農産加工施設に冷房・冷蔵設備を
ひとこと広場
議会のハテナ？
請願と陳情の出し方は？

P4～5

6月定例会
時期尚早
計画的な観光施設整備を
補正予算を減額修正



P6～7

総務産業委員会
観光施設費カット
グランピング関連施設
約9千万円削除修正



P8～9

社会文教委員会
地下水の保全
さわやか環境保全条例改正



P9

農業委員会との合同研修
リニア計画と
伊那谷への経済効果



P10

議会運営委員会
議会改革
飯綱町議会に学ぶ
気迫と実行力！



P22

町民の声を議会へ
いいじま文化サロン
活動はと・て・も面白い



町政を問う

ここが聞きたい

11 議員が質問

久保島 巖

車座集会



目的は何だったか …… P11

橋場 みどり

障がい者差別



「解消法」施行後の取組は… P12

滝本登喜子

水と森林資源



水を観光につなげるには… P13

中村 明美

新電力導入



早急に実施を …… P14

浜 田 稔

儲かる飯島町



公金支出には収益計画提出を… P15

竹沢 秀幸

千人塚公園



桜再生計画を …… P16

三浦寿美子

交通弱者対策



高齢者に元気な外出を … P17

折 山 誠

歩道整備



幹線道路の安全確保を … P18

好村 拓洋

アウトドア構想



町経済への位置づけは … P19

坂本 紀子

環境共生米



販売専任の担当者を …… P20

本 多 昇

空き家対策



総合支援事業の活用を … P21

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

表紙の写真／昨年のミュージックウェーブ

追跡

あれ どうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情

その後のゆくえ

平成28年3月議会 一般質問

問 役場西庁舎内の農産加工施設に冷房・冷蔵設備を。

答 平成29年度で予算化。

その後

平成29年6月
加工室にエアコン
取付工事完了



ひとこと広場

飯島は緑が多くていいと思
います。僕の出身地の北海道と
は違う良さがたくさんあります。
僕は、飯島町の夜のカエルの鳴き
声がとても好きです。
野菜はとってもおいしいです。

飯中の「グラウンド」のトイレを
直して下さい。

給食のカレーのスプーンの修理。

歩道の整備をして欲しいです。

町の駅はとて...と思
いますが、1年中あつあつに
お茶がくれないので
冷たいお茶がほしいです。

夜、道がとても暗いので街灯があると
助かります。(町全体的に)

議会のハテナ?



請願と陳情の出し方は?



A4用紙に提出年月日・住所・氏名を記入し必ず押印。

趣旨はできるだけ簡明にし、略図など資料を添えて、議会事務局に提出。



詳しくは町のHPをご覧ください。

<http://www.town.iijima.lg.jp/> ▶ 暮らし ▶ 「請願陳情」で検索 ▶ 【請願・陳情の手続き】飯島町議会

平成 年 月 日
飯島町議会議員 〇〇〇 様
(代表議員) 住所 氏名 〇〇〇 印
紹介議員 〇〇〇 印
(印) 〇〇〇〇〇〇〇〇について
趣旨
.....

計画的な観光施設整備を！

平成29年6月定例会は、9日から19日までの11日間の会期で開催、町からは予算8件・条例6件が上程されました。

このうち条例1件・本年度補正予算2件は、それぞれ所管委員会に審査を付託し、委員長報告を受け、平成29年度一般会計補正予算を除き承認・可決しました。

平成29年度一般会計補正予算は、「飯島観光地域づくり拠点整備」事業関連予算を減額する修正案を可決しました。

専決処分の承認

年間事業費の確定にともなう一般会計・特別会計補正予算5件・町条例2件は全員一致で承認。

◇町税条例の一部改正
◇町国保税条例の一部改正
条例は、地方税法などの一部改正に伴うもの。

◇平成28年度一般会計
6046万円減額し、総額53億7945万円。予備費に1億4084万円増額。

主 な 質 疑

問 児童手当減額の理由は。
答 出生数の減および所得判定結果。

問 太陽光発電の補助金減額理由は。
答 昨年に比較し、申請が減少。

問 アンテナショップ補助減少理由は。
答 予定より収益があった。

問 与田切周遊コース整備取りやめの理由と今後の方針は。
答 民地との境界確認が必要となったため。今後は観光基本計画で位置づけ実施。

問 利用していない旧紅葉園の年間管理費は。
答 所管課の予算内で管理しているので、委託費用などは不要。

平成28年度 特別会計

- ◇国民健康保険 3871万円減額
- ◇後期高齢者医療 80万円減額
- ◇介護保険 891万円減額
- ◇公共下水道事業 969万円減額
- ◇農業集落排水事業 997万円減額

条例改正

町条例改正2件を全員一致で可決。

◇町消防団員公務災害補償条例の一部改正（関係政令の改正に伴うもの）

◇町さわやか環境保全条例の一部改正（公害の懸念される事業に対し事前協議を求め意見付与できる仕組みを整備）



整備が中断された与田切周遊コース予定地

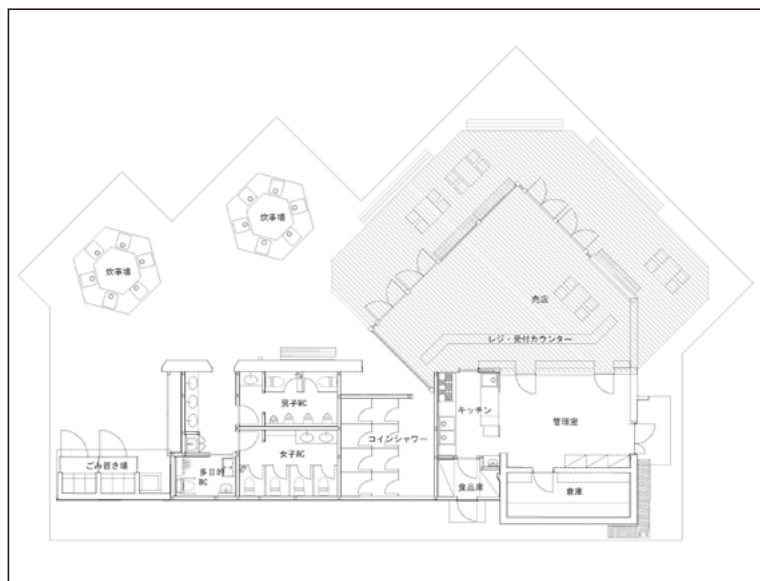
請願・陳情の本会議審議結果

内 容	提出者	付託	結 果
慎重な憲法論議を	上伊那憲法を守る会	総務	趣旨採択 賛成11－反対0 意見書提出 国へ
共謀罪の創設に反対	上伊那憲法を守る会	総務	不採択 賛成 4－反対 7 【反対】 ●一般人を対象としていないことは明白。 ●対テロ国際連携が可能に。テロ防止の事前対処が必要。 【賛成】 ○テロ対応を謳っているが具体的記載がない。 ○テロ対応は現行法で十分可能。個人の内心まで処罰対象に。 ○強硬採決・説明不足で国民は納得していない。
35人学級推進を	町学校職員組合	社文	採 択 賛成11－反対0 意見書提出 国へ
義務教育費国庫負担堅持を	町学校職員組合	社文	採 択 賛成11－反対0 意見書提出 国へ

観光拠点施設整備は時期尚早

補正予算案に対し、アウトドア観光関連予算9085万円の減額など修正案を全員一致で可決

所管委員会に付託されていた補正予算2件のうち一般会計補正予算は、アウトドア観光拠点施設整備予算を除く2759万円を増額し、総額46億7859万円で可決しました。



事業予算を否決した、千人塚アウトドア拠点施設イメージ図



候補地

主な補正財源

- ◇県支出金 1417万円
- ◇基金繰入金 473万円
- ◇宝くじ助成金他 868万円

主な使い道

- ◇コミュニティ助成・防災（七久保・中平・南町） 500万円
 - ◇穀物製粉精米施設整備 1250万円
 - ◇キャリア教育推進協議会* 委員費 6万円
- * 学校から社会生活への円滑な移行など、生涯にわたるキャリア形成を培う教育を検討する機関。〈関連記事P8〉

総括質疑

問 アウトドア関連予算は、事前に説明も無く、観光基本計画での位置づけも不明瞭だが。

答 国の地方創生事業で、3週間で判断しなければならなかった。今回の事業は基本中の基本設備だ。

問 南町の自主防災設備の内容は。

答 アルミテント・救助チェンソー・ガスバーナー。

問 一般コミュニティ助成の七久保・中平の内容は。

答 七久保は折りたたみ椅子、中平は除雪機。

討論

修正案賛成

◇グランピング*事業の採算など、長期ビジョンの策定が必要で時期尚早。

*手ぶらで利用できる豪華なキャンプ

◇観光計画の位置づけ不明確であり、先の課題とすべき。

◇唐突な提案で、町民・議会への説明も無く、理解も得られていない。

平成29年度介護保険会計

日常生活総合支援

78万円増額

グランピング関連施設約9千万円を削除修正

平成29年度一般会計第2号補正の分割付託分を審査し、町提出の原案から観光施設管理費約9千万円をカットした修正案を、全員一致で可決しました。

主 な 質 疑

千人塚観光施設拠点整備

問 施設の目的と規模は。

答 キャンプに必要な炊事場・トイレ・シャワー・管理室を備え、将来を見据えた規模と設備にしたい。

問 利用客数の見込みは。また誰をターゲットにした施設か。

答 控えめに見て年間200人から毎年50人ずつ増やす。

富裕層・ファミリーのすみ分けて利用できる施設にしたい。

問 地方創生交付金事業は、新しい施設整備に限られるのか。

答 施設改修での活用も可能だ。

問 紅葉園やログハウスの活用は考えないのか。

答 今回の計画には含めない。紅葉園は研修や食事処など、インドアでの活用を想定し公募中。

またログハウスの一部は紅葉園とのセット利用、他はいずれ取り壊すしかない。

問 グランピング*総管理棟と資料にあるが、構想は。

答 1泊1人4万円、4月から12月まで月10人の利用を想定し、備品350万円も準備する。

* P 5参照

討論意見

○突然の提案で、説明を聞けば聞くほど不安は募るものだ。

補助事業ありきと言わざるをえない。真に町民のためになる施設かの疑問が拭えない。

千人塚の開発は地に足の着いたものにしてほしい。

○町民が利用する公共的な施設整備か、アウトドア利用者一部のものを収支計画でみると、明らかに町民が使うものではない。

観光基本計画やグランドデザインに沿ったものかも検証できない。

将来の住民負担にならないよう練り直しが必要だ。

○新しい事業には時間をかけ、収支計画や将来展望を踏まえ立案すべきだ。

町長は議会と共に歩むと言ったが、協働は時間軸も共有し、共に歩むことを希望する。

○グランピング施設には賛成できない。千人塚公園の開発を考えることは歓迎する。



グランピングテント

今はキャンプ場の整備にとどめるべきで、補助事業でなくても可能だ。次回の補正予算にぜひ計上を求める。

補正予算の修正案提出

○千人塚公園・与田切公園の開発を、積極的に取り組む姿勢は評価できる。また、交付金の有利性も理解する。

しかし、本事業は収益的事業を始めるための条件整備に見える。長期的な収支計画が必要であり、今後の展開や採算性など説得力のある十分な説明がされたとは言えない。

観光基本計画や住民の要望など、十分に取込んだものとなるよう慎重な展開を求める。

よって、今回の観光拠点施設整備事業を見直すよう削除修正を提案する。

修正案採決 賛成5 反対0

その他の項目

問 産地パワーアップ事業の内容は。

答 そばの製粉機と精米機を揃える。田切農産の敷地内に設置し地元で利用する。

土砂災害に備えて現地視察

6/15

町内で進む防災事業とバイパスの4箇所を現地視察しました。

高遠原地籍矢の沢川上流域
1.58平方キロからの集水地点に
2つの砂防堰堤を設ける事業。
普段は小さな流れだが、昭和

58年の集中豪雨では中央道を
ふさぐ災害になった箇所で、現
在は工事に伴う町道付替の段階。

◇矢の沢砂防えん堤工事



高遠原地籍

◇与田切床固工



国道下 平成29年12月完了予定

陳情審査

主旨採択

慎重な憲法論議を求める

提出者

上伊那地区憲法を守る会

前田 是幸氏

賛成 5 反対 0

◆ 内容

憲法改正には国民的議論が必要であり、慎重に進めること。

◆ 趣旨採択とした経緯

陳情趣旨には賛成できるものの、安倍政権への言及は不要。

不採択

「共謀罪」の創設に反対

提出者

上伊那地区憲法を守る会

前田 是幸氏

賛成 2 反対 3

◆ 内容

国民の思想信条の自由を侵す「共謀罪」の創設に反対。

反対

- ・法整備はテロを防ぐために欠かせない。
- ・個人の内心や信条を制限される心配は当たらない。

賛成

- ・本法案はテロとは無縁のもので後付けの理由だ。
- ・権力側の罪状は外し、準備行為に関する歯止めも無く、国会の答弁でも統一性がない。

地下水の保全盛り込む

平成29年度一般会計補正予算(第2号)の分割付託分・介護保険特別会計補正予算(第1号)を審査し、全員一致で可決しました。また、さわやか環境保全条例の一部を改正する条例も慎重に審査し可決しました。

主 な 質 疑

一般会計

問 キャリア教育推進協議会の内容は。この活動で教員の負担は増えないか。

答 子供の自立度アップや職業体験で社会性を育てるための協議会。委員は12人で、商工会・社協・経営者・学校・行政関係者で構成。

今年は協議会を設置し、教員に町内の企業を知ってもらう。委員に経営者も入るので、教員が体験先を探す負担が減る。

介護保険会計

問 介護支援サービス給付等諸費の100万円減額はなぜか。

答 介護予防・生活支援サービス事業を町オリジナルの事業に移したため。平成28年度に成果のあった元気宅配事業を、介護予防・日常生活支援総合事業に加えた。

意 見

要支援1・2の利用者負担が減り、リハビリの範囲が広がったことは良いことで賛成とする。

条 例

さわやか環境保全条例の一部を改正する条例

問 放射性物質の基準はどこまで規制できるのか。

答 上位法令による。近隣市町村で最も厳しい内容。

問 農薬の使用量の最小限はどれくらいか。

答 環境省・農林水産省などの基準を守り、さらに使用量を最小限にとどめる。

問 29条の近隣とはどこか。

答 駒ヶ根市・中川村・松川町。河川の汚染は上流も含む。

問 当町に影響のある事業の情報はどうやって知るのか。

答 近隣市町村に条例内容を伝え、事前に情報を流してもらう。

請 願 審 査

採 択

国の責任で35人学級を

ゆうき
提出者: 竹村由布紀氏
紹介議員: 橋場みどり

賛成 5 反対 0

◆**内容** 国の責任による35人学級の推進と教育予算の増額を。

質 疑

問 超過勤務の実体は。

答 子供に添った授業を1時間するなら、準備に2時間以上はかかる。現在、勤務時間の割り振り制度を導入している。超過勤務分を4

週間以内に届け出て休むことが出来る。

問 超過勤務の長短は担当する児童数で影響があるか。

答 因果関係はない。時間外勤務を減らすためには、職員数を増やして欲しい。

討 論

賛成 35人学級実現はかかすことのできないもの。

採 択

義務教育費国庫負担制度の堅持

ゆうき
提出者: 竹村由布紀氏
紹介議員: 橋場みどり

賛成 5 反対 0

◆**内容** 国が必要な経費を負担し教育の機会均等とその水準の維持向上を図ること。

質 疑

問 本来は国が全額国庫負担するのが当然で、なぜ全額負担を求めないか。

答 財務省と交渉する中、いつもお金がないと言われる。何とか2分の1に戻して欲しい。

討 論

賛成 子供達が教育を平等に受けられる権利を保障するために必要である。

社会福祉協議会を視察

厳しい現状を聴き取り

6/15

介護報酬改定以来、厳しい経営の続く社会福祉協議会を視察し、現状を調査しました。

平成28年度決算の事業収益は黒字であったものの、障がい者事業の設備改修に費用がかかり、848万円の赤字となった。また、介護保険事業のデイサービス利用者の収入が減ったことにもよる。

今後は、町内の福祉事業所が手掛けにくい福祉の狭間事業を、行政と共に考えることが社協の責務だ。今年度は、障がい者のデイサービスを始めている。

また、健全経営に努めていかなければならない。



深刻な状況を聞く

農業委員会との合同研修会 リニア中央新幹線の現状は

6/19

質疑

問 飯田駅（仮称）に停まる運行ダイヤは。

答 1時間に各1本（東京方面1本、名古屋方面1本）を予定している。日あたりの本数は未定。

要望

- ・飯島本郷からリニア駅までのバイパスの延伸を。
- ・リニアを機に、県は南信に目を向け、観光や企業誘致などの施策を。

長野県政出前講座、県建設部リニア整備推進局の宮島俊課長補佐より、計画の現状と伊那谷にもたらす経済効果の講演を聞きました。

開業52年を経過した東海道新幹線は、経年劣化や東海地震などへの備えが必要であり、対策として中央新幹線の整備により、大動脈の二重化を図る目的ということでした。



工事用トンネル（中川村）

飯綱町議会に学ぶ

気迫と実行力

飯綱町の徹底した議会改革は全国から注目され、昨年度だけでも31団体304人が研修に訪れています。

10年前にリゾート開発の破綻で8億円の負債処理が生じ、議会も責任を問われました。以来「学習」と「自由討議」を積み重ね、議会力を強化。町民の声を背に政策提言を続け、行政と切り結ぶ力を付けてきました。

その取り組みを学びました。

厳しい町民意見

出発点は財政危機後の住民アンケート…議会は住民の声を反映していないとの回答が63%と厳しい評価でした。

指摘を正面から受け止め、議員は30回余の自由討議を重ね「議会だより」特別号で議会改革を宣言します。

追認から提言へ

議案を否決・修正するにとどまらず、行政の諸問題へも積極

的に提言するようになりました。

町長が一般質問に「検討する」と答弁した場合、半年ごとに経過報告します。

議会への住民参加

住民の知恵を集めるために「政策サポーター」制度を創設。テーマを定めて討議を重ね、町に政策提言を行います。3年間に2テーマずつ40回の研究会を開き、健康戦略や集落振興条例などに結実しています。

「議会だより」モニターはの

べ131人。毎回100件以上の意見・要望・批判が寄せられています。

行動ありき

取り組み後の住民アンケート…議会は住民の声を反映していないとの回答が22%に減少。

寺島渉^{わたる}議長の気迫のリーダーシップとそれへの反発など、紆余曲折を経ながらも、議会が全員合意で行動した結果であることが伝わって来ました。

「北の飯綱・南の飯島」を実現したいものです。

いいづなアップルミュージアム

全国りんご生産の1%を占める飯綱町。博物館はりんごに関係あるものを何でも収集。



箱膳で食べる郷土料理

昔の地域の食生活を体験！一皿ごとに食材やレシピの説明をいただき、新鮮な「おもてなし」。

県「しあわせ信州食品開発センター」



杜氏の酒造技能継承から、味覚・香り・遺伝子分析、そして高圧処理や真空含浸などの新しい調理法まで、奥深い食の世界を開拓します。相談すれば、地元食材の思いがけない魅力を引き出せそうです。

斑鳩町議会との交流会 7/3～4

隔年の姉妹都市交流で、いいっ子センター・トレーラーハウス視察の後で、子育て支援・観光振興など意見交換を行いました。

車座集会

目的は何だったか

大局観・方向性を伝えたかった 町長



久保島 巖

問 5月に地区毎に開催された「町長と話そう飯島町の未来を」と銘打った車座集会の目的は何だったのか。参加者も少なく、地区役員が主だった。

町長 町の考え方を聞いてもらい、皆さんが日頃思っていることを聞かせてもらいたいという趣旨で開催。幅広い年齢層の参加がなかったことは課題。

問 町長の話が長く、意見交換の時間が少なく、車座集会とは言にくい。

町長 町のリーダーとしての大局観や方向性を伝えたかった。区の役員中心だったが、こんな機会もなかったので良かったと思う。

ふるさと納税の見直しは

問 総務省から通達があったか。どう受け止めているか。

町長 自由度に制限がなかったために過熱気味になった。その部分は改めることが必要だ。

企画政策課長 総務省通達は県を通じて2度届いている。

問 総務省通達では、返礼額は3割未満とし、資産性の高いものは不適当とされている。町の現状は5割で、返礼品のフルートは資産性が高いと思われる。見直しはするか。

企画政策課長 国の通達に従い、平成30年度には返礼割合を3割以下としたい。フルートはいいちゃんマークや本人のイニシャルも刻印するので、転売は考えにくい。十分に検討していく。

問 今後のふるさと納税をどう位置付けるか。

町長 良識の範囲の感覚に国と多少ズレはあったが、本来の趣旨は変わらない。今後も積極的に推進を図っていきたい。

問 返礼品重視から趣旨賛同型に変わってくることが考えられる。以前にも提案した「仮称・飯島氏資料館建設」を企画し、ふるさと納税のメニューにしたらどうか。全国の飯島さんにも協力してもらおう企画が良い。あわせて町民が1つになれる祭りも開催できる。

企画政策課長 4つの使い道から選んでもらっている。今後、より具体的な趣旨賛同型で好ましい事業を取り入れたい。提案は検討させていただく。

問 子どもたちに「ふるさと飯島」の意識や誇

りを持って貰い、帰ってきてほしい。「飯島」発祥の地とし、町名由来の米をアピールできる。

積極的取り組みを求めるが。

町長 まちづくりの一環として「飯島氏」を売り出す必要がある。飯島＝米＝地域特産物と一つの方向を向いている。適切な提案だと思う。

合葬式墓地の新設を

問 個別の墓を持たない人のために合葬式墓地の新設を。

住民税務課長 町内の墓地には未販売や返還で空きがある。合葬式墓地新設は考えていない。

町長 どれだけの需要があるのかと思う。時代の流れの中で考えていくことかと思う。

〔以上3件質問〕



伊那市の合葬式墓地



橋場 みどり

障がい者 差別

「解消法」施行後の取組は ケースに応じて対応 町長

問 昨年4月に施行されて1年が経過した。この内容と町の取り組みは。

町長 障がいのある人・ない人が、お互いに人格・個性を尊重し合い、分け隔てなく共に暮らせる社会を目的に制定。国・地方公共団体・民間事業者を対象に障がいを理由とする差別解消のため定めたもの。

健康福祉課長 庁舎内では、健康福祉課が窓口で対応。民間事業者などには、事例の起きるたびに内容を確認し、ケースごとに対応している。

町で対応できない事例には、弁護士・伊那圏地域差別の解消

協議会を介して対応。

問 未だに、町民に知られていない。知らずに差別していたり、悲しい思いをしているのに我慢をしている例が見られる。何が差別かをわかりやすく具体的な例で示し、広報・ホームページに掲載するよう求めるが。

健康福祉課長 そう努める。

女性視点の防災を

問 熊本地震では、想定されなかった場所で地震が起きた。町にも想定を超える災害の可能性はある。どう考えるか。

町長 町にはそういった地震の分析などの能力はない。

県・国が出している情報の下に対応しなければならないと考える。

問 今年の防災訓練の内容は。

総務課長 ○世帯ごと・隣組ごと・自主防災ごとの安否確認実施と集約・情報伝達訓練。○要配慮者助け合い台帳の点検と更新。○自主防災会により各家庭の家具固定状況の確認実施。

この3項目を必須事項とし、地域の実情に応じ目的を持った訓練にしてもらうように提案する予定。

問 熊本地震では、東日本大震災の教訓が生かされず、職員・住民誰もが指示待ちだった。実践的な訓練はないのか。

総務課長 区・自治会・自主防災会も、計画に基づいた避難所運営などの訓練をしているところもあり、職員も自主的に参加している。今年度は、地域防災計画の全面改定を進めている。

細部を検討し、同時にマニュアルを作成している。

問 耕地・自治会女性部が防災に取り組む事で、啓発・地域の繋がり・男女共同参画へと広がっていくが、女性部の活用をどう考えるか。

総務課長 現在防災計画に女性部の位置づけはない。女性部の役員に防災・減災の情報提供をしていく。女性の目線・活躍がいつそう重要になると考えるので検討していく。

問 東日本大震災の時、フィンランドに住む日本人の母親達が、救援物資として液体ミルクを送ってくれ喜ばれた。国産品の販売はまだ無い。感染リスクのある乳児には、無菌充填の液体ミルクは安全性が高く、WHO*1・FAO*2のガイドラインでも望ましいとしている。「液体ミルク」を緊急用に備蓄すべきでは。

*1 世界保健機構 *2 国連食糧農業機関

総務課長 国の方向が決まり、流通が始まった段階で、安全・価格などを考慮し検討する。

問 防災計画には、女性にきめ細かい配慮が必要とあるが、具体的な記載は見当たらない。置き去りにされないような防災の町づくりが必要と考える。

女性視点の「防災ブック」を考えているか。

総務課長 女性視点の記載事項は必要と感じている。次回更新の際には、項目を盛り込むか、別途作成するか検討を進める。

町長 皆で作っていく防災ブックが理想的だと思う。『この部分はどうか』という町民の意見をどしどし寄せてもらいたい。

〔以上2件質問〕

水と
森林資源

水を観光につなげるには

他の資源と組合せて 町長



滝本 登喜子

問 「水の駅」構想とは。また、越百の水の利活用と水を観光につなげる取り組みは。

町長 与田切公園全体を親水公園として、多くの人が交流する場となるよう「水の駅」とネーミングした。水とほかの資源と組み合わせた特徴あるもので売り出していく。

大きな資源なので、観光基本計画の一つの柱とし育てていく。

問 与田切公園森林地帯の整備と観光への取り組みは。

産業振興課長 坊主平・御座松エリアは町内外のキャンプ客に人気で、観光トイレの整備をし、今年度に上水道接続工事を行う。

公園の森林地帯を整備・管理している「与田切ネットワーク」と協議し看板の設置を検討する。

坊主平のキャンプ場は有料化

も含めた管理体制を検討する。

問 森林資源利用のペレットストーブ普及への取り組みは。

産業振興課長 上伊那木質バイオマス利用推進協議会有り、「もりもり山の感謝祭」イベントなどでPRしている。公共施設への設置は、現在役場に1台、過去には小中学校にも配備していた。情報収集・研究を進め管理者と検討していく。

問 ロケットストーブを災害時備品として耕地・自治会配備を。

総務課長 ロケットストーブはまだ普及はしていないし有効性の確認ができていない。耕地・自治会への一律配備ではなく、紹介はするが、自主防災会の判断とする。必要があれば相談を受ける。



ロケットストーブを防災備品に

女性消防団員と奉仕団

問 消防団への女性加入をどう考えるか。

総務課長 各分団でも男女問わず消防団員の勧誘をすることを幹部会で確認し働きかけたが、確保できなかった。

問 本部女性団員は、災害時においてリーダーとなり、耕地・自治会で指導に当たる。避難所生活では特に女性・子供に対しての環境整備を進めるなど、役割を明確にしては。

総務課長 本部女性団員は後方支援・広報活動を行っている。これからの課題として幹部会で検討したい。

問 赤十字奉仕団の男性団員の加入や町の防災訓練への参加は。

総務課長 奉仕団は社協のもとに組織されている。社協や奉仕団と情報交換・意見交換をして検討していく。

問 奉仕団が、災害時に積極的に参加するよう指導・要請を町に求めるが。

総務課長 指定避難所が開設され長引く状況となれば、運営に関わるよう社協を通じて要請する。

〔以上2件質問〕



中村 明美

新電力導入

早急に実施を

順次図りたい
町長

問 2016年4月に低圧電力（家庭用）が自由化され、特定規模電気事業者（新電力事業者）からも買うことが可能にな

った。コスト削減を目的に新電力導入をしているのは、大町市など県内約20自治体である。当町でも導入でどの程度削減できるか、研究・検討を進めるべき。

現在の電気料金総額と新電力導入に対する考えは。

町長 役場庁舎約600万円、その他の施設などを含めると約2000万円かかっている。休息時間の消灯やクールビズをしているが削減にも限度がある。

業者から新電力導入の説明を受け、県内17市町村で導入している実績も聞いた。

現在、施設ごとの電気使用量と料金など、実態の把握から進めている。導入した場合の料金比較など、メリット・デメリットを整理・検討し、順次導入を図っていききたい。この新電力導入は、国の規制緩和であるが外資も入っているの、よく精査していききたい。

問 災害時は中部電力に切り替え供給するシステムなので安心できる。コスト削減状況は、市1000万円、町村は数百万円ほどである。

導入でコスト削減した分を他事業に充てることも可能。今年度中に研究結果を出すよう求める。

総務課長 先行する市町村でも、順次切りかえられる施設から実施している。

施設の管理者などと協議しながら予定を立てていく。

公会計方式で財政管理を

問 地方公会計の整備が全国的に統一される。当町は切り替えて5年以上になる。

見えてきたことと将来の対策をどのように捉えているか。

企画政策課長 例えば資産老朽化率は類似団体の平均値を上回っており、道路や学校施設の適正な維持管理を図る必要がある。

将来への負担を軽減させるためには、公会計情報を活用し、公共施設等総合管理計画などに沿って、統合・廃止など資産縮小を含め研究していく。

委託業務の内部化では、内容・職員負担など考慮し、適時対応を図っていききたい。

賃借土地の買い取りは、相手の意向も尊重しながら進めたい。

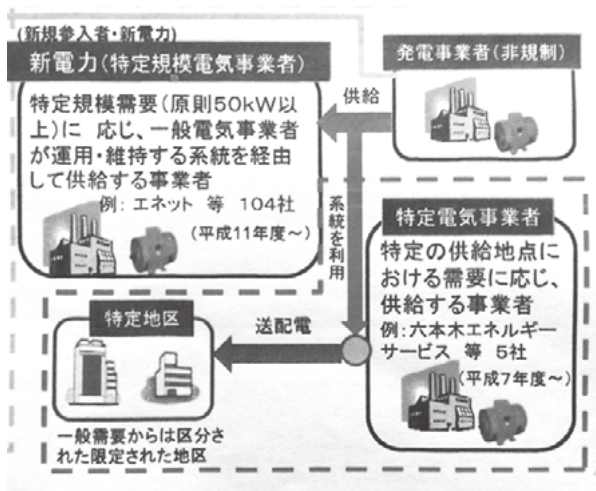
問 資産状況の分析は、住民や議会へもわかりやすい形で積極的に公開することが重要だ。愛媛県砥部町の住民理解への取り組みを参考にしよう提案する。

企画政策課長 住民にも今まで以上に財政状況の理解を深めてもらうことが大事になる。紹介の先進事例も参考に、よりよい財政の見える化、財務情報の公開に努める。

他に、

- ・ 学校教員の時間外勤務実態と改善の必要性。
 - ・ 自殺対策「ゲートキーパー」の養成。
- を質しました。

〔以上4件質問〕



儲かる
飯島町

公金支出には収益計画提出を

議会に十分説明する 町長



浜田 稔

問 「儲かる飯島町」の政策で経済的に発展することは望ましい。町がその「呼び水」となる支援を行うことも歓迎だ。

その場合、事業主体は町自体か外部の法人・企業か。

町長 事業主体は飯島町営業部から独立した法人であるべきだ。

問 町が公金の支出を行う以上、議会に対して

- ・投入される公的資金の額
- ・必要な経費の根拠
- ・収益予想の根拠

を提出すべきだが。

町長 議会には事業の十分な説明を行う。

問 2つの体験型農業公園の比較を述べる。

・京都府が60億円を投入した「丹後あじわいの郷」は、最初賑わったものの10年後には入場者が激減、民間に貸与。

・若手農業者達が共同出資した伊賀市の「モクモク手作りファーム」は赤字スタートしたが、20年後の今は盛況。

自治体が立派な施設をつくり税金で後始末をした例は多い。

これを避けるために、町が支援する収益的事業は、総額と期限を定めるべきでは。

町長 町が支援を続けている事業の精査をしていきたい。

町の教育の将来は

問 少子化が進むと教育面で何が懸念され、どう対応するか。

教育長 今の0歳児は50人ほどなので、中学はいずれ学年2クラスになるだろう。教師も減り、体育・文化活動の幅は狭くなる。免許外の教科指導も生じる。

それを乗り越えるには、地域社会が関わって子どもを育て、身近で具体的な課題を通して自ら考える力を養うことだ。

問 少子化で県立高校の統廃合が進むと、高校の序列化や地域格差も懸念されるが、考えは。

教育長 上伊那の高校入学者数は12年後に2割以上減る。

しかし生徒数合わせの統廃合ではなく、子ども達の希望や進路が叶う高校が、通学範囲に残るよう求めていく。

問 欧米は、国内総生産も科学技術の論文数も過去17年で7割増えた。しかし日本だけはどちらも減少し、衰退は著しい。子ども達の夢も失われているのではないか。

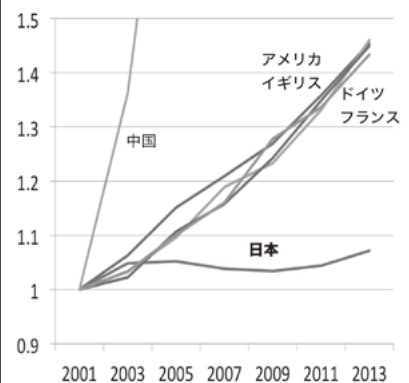
未来を担える教育環境のあり方をどう考えるか。

教育長 産業の自動化が進み、今ある職業の半分が10年後には無くなるとも言われている。

学歴や特定の職を求めるより、自ら課題を探し仲間と共に考える力を育てることが大切だ。

科学技術論文数の伸び

(2001年基準 8分野合計 文科省調査資料から)



夢持てる教育環境を

ごみ処理発電 収支見込みは

問 上伊那広域連合のごみ処理中間施設には、熔融炉の廃熱を利用した発電も含まれる。

投資規模・売電収入・運転コストなどの収支計画は。

町長 中部電力との接続費用が未確定のため、町の費用負担も検討中。

〔以上3件質問〕



竹沢 秀幸

千人塚公園

桜再生計画を

花の名所として検討
町長

問 昭和15年に、当時の七久保青年会が熱い想いで1000本植え、桜の名所となった。

植栽から80年経過し、ソメイヨシノは材質腐朽菌に侵されテングス病も蔓延している。樹勢の衰えや花芽がつかないような状況にあり、寿命である。

10年後にリニア新幹線や三遠南信道が開通する。これを見据え、今年度策定する観光基本計画に、千人塚公園の桜を「桜再生プロジェクト」として盛り込むことを提案する。

町長 桜の植えかえやほかの樹木も含め、千人塚公園の花によ

る観光を検討する時期が来ていると認識している。

植栽の段階から多くの町民がかかわることが大切だ。

桜守の意見などを聴きながら、「桜再生プロジェクト」の考えも参考に、花の名所として人々に喜ばれる観光地づくりを進めていきたい。また、観光基本計画には当然盛り込む。



ここに植えると良いのでは

問 町が取得した「紅葉園」の経過と今後の活用は。

町長 12月13日～3月3日にかけて公募提案型入札を行ったが応札は無かった。

現在、賃貸区分の追加・余裕を持った募集期間の設定・地代を考慮した価格設定の見直しを行い、活用事業者を募集している。

民間事業者の利用に期待する。

傘山に看板設置を

問 5年前に「南駒里山クラブ」が結成され、登山道整備などの活動を展開している。

また、同クラブは当面3か所に看板の設置を希望している。

- ・第1展望台に中央アルプスが見える眺望用の看板
 - ・頂上東に南アルプス・西に中央アルプスが眺望できる看板
- 傘山の登山道整備や看板設置により集客増を。

町長 林道整備を順次実施しているが全線に至っていない。

草刈りなど軽微な整備は「南駒里山クラブ」に引き続き協力願いたい。

近年の傘山の知名度の向上や登山者の増加を考え、山頂などにアルプスの説明看板を設置することは登山者のリピート・山岳観光の推進につながる。

関係団体と協議しながら検討する。

他に、

- ・飯島町の権限で農地転用許可の実施
- ・米俵マラソンと環境共生米販売に地域おこし協力隊員採用を質しました。

〔以上4件質問〕



傘山からの眺望

交通弱者 対策

高齢者に元気な外出を

ニーズに合わせ拡大 町長



三浦 寿美子

問 近年、高齢者の自動車免許証の返納が増加している。伊那市では10年間で16倍になり、今年は4月末までに129件の手続きがあった。

町内の状況はどうか。

町長 近年増加傾向にある。

平成26年は24件・27年21件・28年46件・今年は4月末までに12件の返納があった。

自主返納し、申請をすると「運転経歴証明書」が交付され身分証明書として使える。タクシーに乗車するとき、提示することで乗車料金が1割引きになる特典もある。

問 免許がないと行動範囲が狭くなる。返納後も元気で社会生活を送ってもらうことが大事。

現状の対応は。

健康福祉課長 高齢などで運転が不安になったら返納が望ましいが、車が無ければ生活できな

い地域の実情もある。

高齢者の外出支援のため「福祉タクシー券」の交付対象を今年度拡大している。引き続き高齢者のニーズにあった見直しを検討していく。

高齢者の利用しやすい循環バスになるよう「自治会」「いの会」「高齢者の健康教室」などに出向いて説明・意見交換に努めていく。

総務課長 今年度は、循環バスのひと月分の予約やJR飯田線に合わせたダイヤ改正を行う。

問 イベントに参加する足の確保が難しく、参加できない人がいる。町有バスの運行も含め、参加できるような工夫を。

総務課長 町有バスの利用は、主催者からの相談により考えていく。

問 県は2次交通を考える検討

会を発足した。生活の足の確保はどこでも深刻である。

今までと違った視点で考え、研究・検討する必要があるが。

町長 予算の問題もあるが、福祉タクシーや循環バスのみで万全とは思っていない。

利用を促す企画を考える余地は十分あると考える。

耐震補強に シェルター活用を

問 家屋の耐震補強を求められても、踏み切れない世帯があるのではないかと。

町長 平成27年度の県の試算では1件当たり平均200万円なので、踏み切れない実態があると思われる。

問 耐震シェルター活用の検討をしたか。

建設水道課長 住宅内の一部を補強するもので、比較的取り組みやすい耐震対策である。

県や先進地の取り組み事例の情報収集を進め検討する。

問 町の間伐材を活用し、安価に設置できる耐震シェルターを開発できないか。

建設水道課長 県・商工会などの関係団体と検討していく。

〔以上2件質問〕

運転経歴証明書とは...

免許を返納したいけど、本人確認書類がなくなって困るなあ

そんな時には
運転免許証を返納して

運転経歴証明書の交付が受けられます

氏名 安全 花子 昭和7年2月7日生

住所 長野市川中島町原704-2

交付 平成29年02月06日 00010-1

運転経歴証明書
(自動車等の運転はできません)

※ 第 480012347890 号

有効期限 平成30年02月06日

交付手数料 1100円

※ 有効期間は永年です

※ 交付手数料は1000円です

※ 自治体によっては、バス優待乗車券等の交付等を受けられる場合があります

運転免許の自主返納者が増えている



折山 誠

歩道整備

 幹線道路の安全確保を
 早期実現に取り組む
 町長

問 七久保バイパスのＪＡ給油所信号機からＪＲ七久保駅北踏切間は、自動車交通量の多い幹線県道である。

また、保育園や学校への通園通学・バイパス沿線の商業施設への買い物・ＪＲ駅への通勤通学など、はば広い年代の歩行者が多い道路でもある。

安全安心の喫緊の課題として、早急な歩道設置を求める。

町長 昨年、ＰＴＡと七久保区から要望があった。町も歩道設置の必要性を感じ、道路管理者の県に要望し、現地調査に立ち会った。

早期実現に向け、引き続き働きかける。

学校図書館の充実を

問 学校教育における学校図書館の役割をどう認識しているか。

予算編成時の図書館の状況把握と予算配分は、どのように行われているか。

教育長 図書館は、授業の調べ学習の起点となるほかに、児童の知的活動・健全教養の育成の役割を担っている。

３校にはそれぞれ司書１名を配置して、計画的に図書購入・蔵書更新を行っている。

予算は、中学校に生徒１人当たり２０００円・小学校に１８００円を、図書費として配分している。

問 経済のグローバル化とともに、世界に通用する人材の育成が急務であるとして、国は学校図書館の蔵書に地方交付税で予算を措置してきた。

七久保小学校には３１万円のはずだ。町の予算額は。

教育長 七久保小の図書費予算は約２０万円だ。

問 伊南４市町村で、平成２８年に国の定める蔵書数に達して

いない学校は、七久保小学校のみであった。しかも同校では、２０年以上前の図鑑しか蔵書していない。

今日的な調べ学習は困難と思われる。

未来の人材を今から育成するためには、適切な蔵書更新が必要。自治体間の教育格差を生まないためにも、国の交付税措置相当額を予算配分すべきだ。

町長の所見は。

町長 教材にも鮮度がある。古い資料活用はいかなものかと思う。

図書を預かる現場の裁量にできるだけ配慮すべく努める。

町営業部
新たな取り組みを

問 営業部の新たな事業展開に期待を寄せる町民の声が多い。

特命チームによる４大都市圏への飛び込み営業を提案するが。

町長 東京人会など、縁を活用した営業に力を注いでいく。

その他、千人塚一体の資源を活用した、町の活性化を質しました。

〔以上４件質問〕



歩行者に気をつけて

アウトドア 構想

町経済への位置づけは

魅力を伝え活気を出す装置だ 町長



好村 拓洋

問 町・町民のかかわり方は。

また、どのような事業形態を考えているか。

町長 町が経営主体になることは考えていない。運営主体となる法人が必要だと考える。

基本的な観光施設整備は行政がやる必要がある。

町民は、株主や経営に参加して支えてもらいたい。

問 構想の中身やかかわり方は町民に周知不足だ。車座集会第2弾の開催が必要では。

町長 周知は大事だ。アウトドア部会にも若者が入っている。ぜひ興味がある人に参画して提案などしていただきたい。

問 お金をかければできるディズニールンドなどは不要、と言っていた町長に賛同する。アウトドアフィールド構想はどこが違うのか。収益事業として成り立つ判断材料はなにか。

町長 自然を眺めるだけではなく、自然体験型の観光産業を興し、活性化する改革的な事業の取り組みだ。

問 主な利用者は町民か。

町長 町民が楽しくなければ、町外からの利用者也当然楽しくない。基本的には町民だ。

問 構想は素晴らしいが、公金

を使う以上、総事業費や収益予測などが必要では。

町長 事業の前には売上げ予想を立てるが、新事業では期待値に左右される。固定費など原価計算はできる。

問 現段階での利用客見込みなど具体的な数字は。

町長 法人化を目指す人々は持っていると言ったが、根拠を確かめたわけではない。

町が投資して姿勢を示す必要がある。水回りなど基本的な最低限の整備を行い、安心して来られるようにしなければならない。

問 将来の町にとっての位置づけは。

町長 農業・工業を超えるものではない。活気を生み出すための装置だ。

町の魅力・自然の魅力をいかに伝えるかが重要だ。

永続的な町づくりを

問 町の経済自立度*をどのように捉えているか。

*町全体所得に占める町内産業の稼ぎ出す力の割合

町長 地域経済分析システムによれば、2010年、町は75%・宮田村は83%。

問 今後商店などの閉店が予測される。生活の利便性に直結するため対応や支援が必要と考えるが。

町長 活力ある飯島にするために手を打ち、政策に活かしたい。

リニア新幹線・三遠南信道の開通で、伊那谷は期待の持てる場所である。

都会へ出ていった若者が戻ってこられる施策・呼びかけをしていきたい。

〔以上2件質問〕



町民に親しまれるアウトドア事業を



坂本 紀子

環境共生米

販売専任の担当者を

力を入れた
町長

問 米の消費減少・TPP参加・担い手不足・平成30年からの減反廃止などが及ぼす生産者への課題と対応は。

町長 10aに7500円の直接支払い交付金廃止・米の消費減・食用米価下落により農家所得が減り、生産意欲の減退を懸念。

環境共生米(略共生米)の取り組み・米に変わる生産物の多品目化や平成31年から始まる収入保険制度への加入も勧める。

国へも支援拡充を要望する。

問 営農センターで減反調整を
すると聞いたが。

産業振興課長 農業再生協議会が、県やJAと協議しながら対応していく。

問 環境共生米の栽培は基肥一発型肥料「いいちゃん35」の使用が条件。一般の肥料より高いので安価にならないか。鶏糞など、種類の緩和を求める。

産業振興課長 取り組み易くするため、営農センターで開発した。コストは下げるよう努力したい。販売先との契約により、統一した栽培基準が必要で緩和できない。

問 土手草の刈りすぎは、経費や生物の多様性にデメリットだが回数の基準は。

産業振興課長 よく管理されていると町外者から言われる。過度の草刈りは生物多様性の観点から心配される。作業は負担であるが、病虫害防除のため必要。生物多様性は、別の場所で守るという考えもある。

問 共生米と銘打ってみても、売れなければ生産を拡げていけない。今後の戦略は。

産業振興課長 飯島産米は全部共生米にしたい。JA上伊那にも働きかけたいが、コスト・栽培方法・生産者の理解などまだまだである。

問 営農組合を法人化して、30年余の取り組みは大いに評価する。しかし、JA依存から新たな販路への検討は。

町長 大事なのは地域と繋がりをつけ、地元の団体・会社・個人と適正な価格で安定した品質で販売をすること。

産業振興課長 JA上伊那・全農長野・米の流通業者と営農センターと懇談をした。販売ルートの新規参入は非常に難しい。

既存の販売先・県人会など町とのつながりを活かした販売を強化したい。

問 営農センターは、生産者をまとめ法人化に協力したり補助金の申請など、事務的な仕事だった。もう一人販売担当者を入れ、売ることに力を入れては。

町長 その通りである。

問 共生米の学校給食での反応は。

産業振興課長 昨年12月から提供。給食センターの声は、『米の質が悪くベチャベチャして美味しくない』と厳しい感想。飯島小の職員の声は『子供達は美味しいと食べている。少ない農薬で有難い。作り手の見える米は、安心安全だ。』

〔以上1件質問〕



美味しい共生米

空き家対策

総合支援事業の活用を

しない

町長



本多 昇

問 空き家対策特別措置法に基づき協議会を設置し、空き家対策総合支援事業を活用すべき。

町長 活用には「空き家等対策計画」と「協議会」を設置しなければならない。

しかし、平成27年度庁内連絡会議において「空き家対策特別措置法」で対応すると決めたので活用しない。

問 施行後、この法律に基づいて空き家対策をした物件があるか。

住民税務課長 ない。

29年度予算を検証

問 「飯島ルネサンス」とか「3本柱のチャレンジ」という言葉で表現して、大きいことをやっているように見えるが、最低限必要な義務的経費を中心に編成する骨格予算だ。

新規事業は31件7600万円だけ、あとは拡充・継続事業で編成している消極的予算だが。

町長 みんなが安心して暮らせる豊かな町を目指し、子育てと福祉施策を中心に、真に必要な事業を厳選し、行政運営とまちづくりを行うための予算である。

新年度に行う事務事業を精査し予算化しており、消極的・骨格予算ではない。

問 常勤の臨時保育士を嘱託職員化することで、200万円の処遇改善が図られ、一歩前進した。

正規と臨時の職務内容は適正に区分されているか。

教育長 職務内容に関しては両者に差はなく明確な区分はない。同じ保育士として、園児の安全に配慮した日々の保育を協力しながらやっている。

役割を理解してお互いに協力できる体制をとって、臨時保育士の業務的・精神的負担の軽減が出来るように努めたい。

問 全員を正規職員にすると、人件費は5000万円増加すると私は試算している。

それに比べれば200万円の処遇改善は少なすぎるが。

教育長 財源を伴うので、各方面と相談して処遇改善を進めていきたい。

自治会の負担軽減を

問 町長は28年度の区長・耕地総代・自治会長会において、呼称統一の検討を依頼した。29年度から田切・本郷区が自治会となり飯島区も検討中。

統一を機に、自治会への行政業務負担軽減を求めるが。

町長 人口減少の中での自治会運営は厳しい環境にある。

新しい方策を皆で考えていく。

〔以上3件質問〕



特措法の適用を！ 上通りの廃屋

町民の声を議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力をお願いし、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「いいじま文化サロン」会長 松村まゆみさんに登場していただきます。

こんにちは「いいじま文化サロン」です！



指人形の上演

町広報のいいじま未来飛行やケーブルテレビのお知らせなどで、耳にする事があるいいじま文化サロンという名前。『でも、よく知らないの・・・』という皆様も多いのでは。「いいじま文化サロン」は文化館を拠点に、様々な自主事業で町の文化振興を図ろうという任意団体です。設立は、平成10年です。事務局は教育委員会に、現在は後藤俊夫名

誉会長のもと町内外21名の会員で活動しています。こんな風に書いてしまうと、とても難しいことをしているように感じてしまうかもしれませんが、実はと・て・も面白い。

例えばお芝居が好き・音楽が好き・特にジャンルはないけれど、企画することが好き・表に出ることは苦手だけれど、裏方が好き。などなど、思いはあるけれどなかなか実際に動けなかった・・・。

そんな皆さんはぜひ、いいじま文化サロンで一緒に活躍してみませんか？

思いが形になり、町の皆さんに喜んで頂ける事業に作り上げて行けるかも知れません。

興味をお持ちの方ぜひ！お待ちしております。

平成29年度は、昨年度より少し多めの6つの事業を予定しています。

子供さん向け・演歌を愛する方向け・久しぶりの映画など、町文化館にぜひ足をお運び頂きお楽しみください。

町内にプレイガイドもありますし、サロンの会員も精一杯チケット販売しております。お気軽にお声をかけて頂き、文化サロンへのご意見やご要望もぜひお伝えください。

楽しい企画で町の皆さんが笑顔になり、元気になれるよう今年度も、文化サロン一同頑張ります！よろしく願いいたします。

町と議会に望むこと

年齢や職業様々なものを超えて、魂で楽しみ合えるような町になって行ったらと思います。共感し合える町でありますように！！



共演者とスタッフ

議会だより

問題

改定されたのは
さわやか〇〇保全条例

ヒントは
8ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈
(締切は9/30、発表は発送をもってかえさせていただきます)



応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

梅雨空を仰ぎ段取り決めかぬる
(長嶺勇)

今年は空梅雨でした。
農作物への影響が心配されます。

発行責任者 議長 堀内克美
編集委員 ◎橋場 ○折山
滝本・好村・浜田・坂本